

生産性マネジメントフォーラム[研鑽の会] 2025年度 開催のご案内

1. 概要

- (1) 実施期間(毎年): 2025年7月~2026年3月(第4期目)
- (2) プログラム構成と場所:
 - 合宿 軽井沢・2泊3日/京都・1泊2日
 - 例会(都内ホテル等) 朝会(8~10時、朝食提供)/夕会(17~19時、終了後交流会)
 - 海外ミッション 4泊6日(アメリカを予定)
- (3) 対 象: トップマネジメント候補者(取締役・執行役員)
- (4) 参加費: 189.2万円(税込)/朝食・交流会費込、合宿、海外ミッションは別途請求

2. 本会の背景とねらい、特徴

(1) 背 景

- 「失われた30年」を経て、現在の日本は少子高齢化による生産年齢人口の減少、デジタル化・ダイバーシティ&インクルージョンの遅れ、経済の新陳代謝の低迷、重要な投資(人材投資、設備投資、研究開発投資)の低迷等課題が山積し、その結果、生産性上昇率が長期にわたり低迷している。
- 気候変動やパンデミック、脱グローバル化や自国第一主義、格差拡大などの社会課題が頻出、企業と経営者はこれまで以上に、生産性向上と成果の公正分配の好循環を促進する役割を担うことを社会から期待されている。
- 経営者には、企業目的や存在意義の再定義と将来ビジョンを浸透させ、多様な人材や組織のダイナミズムを最大限に引き出し、さまざまなステークホルダーとの対話によるイノベーションを誘発 するリーダーシップが求められている。

(2) ねらい

生産性向上とその成果の公正分配を循環させ、持続可能な経済社会の実現をリードする経営者が集まる場の構築。

- 日本を代表する企業経営者と、将来の経営者候補である参加者が、利害関係に捉われず、本質的 対話を通じ、価値観や経験、経営哲学、意思決定基準等を相互に研鑽する。
- 時宜にあった課題をテーマとし、深い人間関係が構築された参加者であるからこそできる本音の議論を継続し、中長期的な視点で持続可能な経済社会の実現をリードする経営者ネットワークを構築する。
- 海外有識者との対話により、日本と異なる価値観、方法、人間観を体感する。

(3) 特 徴

- 経営者に求められる構造化力、思考力、洞察力、対話力、意思決定力等の向上に特化したプログラム
- 日本を代表する経営者と参加者相互のネットワーク構築
- グローバル観点から環境変化を五感で体験
- 膝詰めの場における本音・本質的対話を通じた相互研鑽

3. プログラム案

日程			テーマ	ディスカッションのポイント	指導講師等
第1回	7月8日(火)～10(木) ※軽井沢合宿	生産性リーダーの条件	VUCA時代の意思決定新機軸 (9日～10日 15:00 までは軽井沢トップマネジメントセミナーへご参加いただきます。)	・イノベーションによる付加価値増大で実現する生産性の向上 ・急激な技術革新、パンデミック等、激変する経営環境とコーポレートトランスフォーメーション ・企業と産業の新陳代謝、雇用の流動性	8日17:30-19:00 (交流会あり) オリエンテーション 課題意識共有 (兼自己紹介) 10日15:30-17:00 IGPIグループ会長 富山 和彦氏
第2回	8月下旬 17:00-19:00 (終了後交流会)	組織活性化・人材活用を考える	経営課題討議① ※本フォーラム 第1期～第4期合同例会	・経営トップ (および準じる職位) の本フォーラムOB・OGが登壇し、経営トップになる前後での立場、課題、意思決定の違いなどを発表し、参加者と討議を行う	OB・OGのうち、 トップ層就任者3名程度
第3回	9月中旬 8:00-10:00 (朝食会)		持続可能性を高める経営	・ダイバーシティ＆インクルージョン ・グローバルかつ多様な人材の育成と活用	ANAホールディングス 取締役会長 片野坂 真哉 氏
第4回	10月上中旬 8:00-10:00 (朝食会)		人材が活躍できる経営	・人材の育成と活用、組織活性化 ・働き方改革、エンゲージメント	住友林業 代表取締役 会長 市川 晃 氏
第5回	10月31日(金) 15:30-19:00 (終了後交流会)	イノベーションを創出する	経営課題討議②	・「イノベーション」について各参加者がテーマに関する問題意識や課題などを発表し、参加者間で討議を行う	参加者間での討議
			DX時代におけるイノベーション経営	・生成AIの汎用化などDX時代におけるイノベーション経営の要諦 ・新たな付加価値の創出 ・経営のリーダーシップの重要性	早稲田大学ビジネススクール 教授 入山 章栄 氏
第6回	11月 (4泊6日) ※海外合宿	異質価値から学ぶ	海外ミッション (アメリカ)	・米国から見た日本経済・産業変遷の行方 ・イノベーションを軸とした生産性に関する国際比較 など	企業/スタートアップ 大学/研究機関等
第7回	12月中旬 8:00-10:00 (朝食会)	イノベーションを創出する	イノベーションと経営者の役割	・意思決定の迷い、最後に背中を押したものは何か ・エコシステム、連携など外部との有効な関係性づくり	中外製薬 名誉会長 永山 治 氏
第8回	1月上中旬 8:00-10:00 (朝食会)		技術革新による社会課題解決の価値 (Society5.0)	・アーキテクチャ思考力、構想力の展開 ・デジタル技術の社会実装	日立製作所 取締役会長 代表執行役 東原 敏昭 氏
第9回	1月下旬 8:00-10:00 (朝食会)	人材を考える	人材が活躍できる経営	・高度人材の育成と活用、産学連携 ・働き方改革、エンゲージメント	第一生命ホールディングス 取締役会長 稲垣 精二 氏
第10回	2月中旬 (1泊2日) ※京都合宿	イノベーションを創出する	国内事例研究	・京都におけるイノベーションの実際と課題	株式会社細尾 代表取締役会長 細尾 真生 氏 他
			経営革新と経営者の役割・行動	・危機を予測し先手を打つ「攻めの経営」 ・ステークホルダーのための意思決定 ・企業の社会的価値をもたらすもの	アサヒグループ ホールディングス特別顧問 経営品質協議会代表 泉谷 直木 氏
			経営課題討議③	・「付加価値生産性の向上と人材」について、各参加者がテーマに関する問題意識や課題などを発表し、討議を行う	参加者間での討議
第11回	2月下旬 8:00-10:00 (朝食会)	ガバナンスの進化を考える	サステナブル経営とガバナンス	・サステナブル経営の実践 ・サービス産業生産性課題への取り組み	JTB 代表取締役 社長執行役員 山北 栄二郎 氏
第12回	3月下旬 16:00-19:00 (終了後交流会)		経営課題討議④	・「ガバナンス」について、各参加者がテーマに関する問題意識や課題などを発表し、参加者間で討議を行う	参加者間での討議
			SX(Social Transformation : 社会の変容)時代のコーポレートガバナンス	・アーキテクチャ転換期における社会の公器としての企業 ・コーポレートガバナンスの本質	IGPIグループ会長 富山 和彦 氏

【海外連携先組織】

○ ブルッキングス研究所 [The Brookings Institution]

1916 年設立。本部は米国ワシントン D.C.。公共政策に特化した世界トップクラスのシンクタンクで、 ミッションは、独立研究と政策ソリューションの提供である。地域・国家・グローバルなどさまざまなレベルにおける社会課題に取り組み、政策決定者や行政に対してイノベティブで実践的な提案を行っている。

○ハーバード大学ケネディ行政大学院 The Growth Lab

経済成長と開発政策の研究を推進し、教育、経済複雑性指標などのツール、出版物を通じて研究結果からの洞察を共有するとともに、各国政策立案関係者と協力してアクションを設計・支援し、各国の包括的な繁栄を目指している研究組織。

○ドイツ工学アカデミー [acatech/アカテック]

メルケル前首相の強力なイニシアティブの下、ヘンニヒ・カガーマン氏(SAP 元会長兼 CEO)が 2008 年に設立。本部は独ミュンヘン。2011 年に「インダストリー4.0 構想」を発表。AI・IoT 時代の到来を踏まえた製造業立国としての政府、産業界の道筋を示す。エネルギー、テクノロジー、セキュリティ、雇用・教育、モビリティ等の分野においてリサーチ、イベント、出版、政策提言を行っている。

4. 運営

(1) 例会 ① 経営者との対話

経営者の講演(問題提起)をいただいた後、経営者含めて全員で意見交換、討議を行います。

※講演、意見交換・討議の時間をそれぞれ 50 分程度設けます。

② 経営課題討議

参加者間の価値観を交換する場です。お互いに意見を出しあい議論を行います。

※各回発表者 3-4 名(10 分程度/人)のあと、意見交換・討議の時間を 60 分程度設けます。

(2) 合宿(軽井沢・2泊3日/関西・1泊2日) ※詳細は改めてご案内予定。

(3) 海外ミッション(アメリカを予定 4泊6日) ※詳細は改めてご案内予定。

【お問い合わせ・担当窓口】 公益財団法人 日本生産性本部 生産性マネジメントフォーラム事務局

Tel:03-5511-2028/Mail:topseminar@jpc-net.jp

【ご参考:ご参加実績(第1~3期)】

以下のお会社、組織の取締役・執行役員クラスの方々にご参加頂いております。

- ・有限責任あずさ監査法人
- ・MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社
- ・キッコーマン株式会社
- ・株式会社JTB
- ・全日本空輸株式会社
- ・第一生命保険株式会社
- ・第一フロンティア生命保険株式会社
- ・大和証券株式会社
- ・株式会社タカギ
- ・株式会社竹中工務店
- ・中外製薬株式会社
- ・株式会社ティ・アシスト
- ・株式会社帝国ホテル
- ・東京電力ホールディングス株式会社
- ・日本郵政株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・株式会社フロンティア
- ・株式会社堀場製作所
- ・三井住友海上火災保険株式会社
- ・株式会社ミツウロコグループホールディングス
- ・三菱地所株式会社
- ・三菱地所コミュニティ株式会社
- ・三菱地所ホテルズ&リゾーツ株式会社
- ・ヤマト運輸株式会社

(以上、24 社)

【ご参考】第 3 期ご参加者の所属と役職

	所属	役職
1	有限責任あずさ監査法人	常務執行理事 HR本部長／金融副統轄事業部長
2	A N Aホールディングス株式会社	執行役員
3	株式会社 J T B	取締役常務執行役員 経営戦略担当（CSO）
4	第一生命保険株式会社	常務執行役員
5	大和証券株式会社	執行役員
6	株式会社竹中工務店	常務執行役員
7	中外製薬株式会社	臨床開発本部長
8	東京電力ホールディングス株式会社	経営企画ユニット経理室長
9	日本郵政株式会社	常務執行役
10	株式会社日立製作所	理事／鉄道ビジネスユニット Head of Japan Business
11	株式会社フロンティア	南関東支店支店長
12	株式会社堀場製作所	理事 財務法務本部副本部長
13	三井住友海上火災保険株式会社	中部損害サポート部長
14	株式会社ミツウロコグループホールディングス （株式会社ミツウロコヴェッセル）	取締役 社長補佐 （代表取締役社長）
15	三菱地所ホテルズ＆リゾーツ株式会社 （三菱地所株式会社）	代表取締役 社長執行役員
16	ヤマト運輸株式会社	輸配送マネジメント統括 ラストマイルオペレーション部長

（派遣元企業）